

隼新八郎（南町奉行所内与力） — 郁江（妻 神谷伊十郎の娘）、おとり（女中）

神谷伊十郎（新御番組頭 郁江の父） — 左尾（妻 能勢市兵衛の妹）

鹿之助（息子 勘定方） — 雪江（妻）、波平（若党）

能勢市兵衛頼能（大番組頭） — 藤代（妻）、お志賀の方（娘 大奥老女）

落合清四郎（中川御番衆） — 小夜姫（妻 内藤豊前守信敦の娘）、倉橋（女中）

根岸肥前守鎮衛（南町奉行 安生家の三男） — 亡き妻（桑原平兵衛盛利の娘）

貞春院（叔母 向島住）

お鯉（隼家の元女中→肥前守の女中）、仙之助（兄 淀橋）

高木良右衛門（用人）、お千加（娘） — 刀剣商又右衛門（夫 石町）

宮下覚右衛門（用人）、吉之進（息子 駿河台屋敷の用人）

大竹金吾（用部屋手付同心）

大久保源太（定町廻り同心）、進介（若党）、佐助（若党）

勘兵衛（湯島の元岡っ引）、初（娘）、金太（下ッ引）、熊吉（下ッ引）

藤助（駒込の岡っ引）、お里（藤助の妹 三河屋の内儀）、丑松（子分）

芳造（蔵前の岡っ引）

仙三（本所の岡っ引 髪結い）

松之助（本所の岡っ引 湯屋）、勘助（子分）

神奈孫四郎（南町与力）

小田切土佐守直年（北町奉行）、佐伯真兵衛（用人）、神山喜兵衛（用人）

将軍家斉、家慶（世子）

水野出羽守忠成（若年寄）、清水要人（用人）

中野清茂・禎翁（側近）、お美代（養女）

やまこしや
山越屋徳松（太物問屋） — おなみ（女房）、与兵衛（番頭）

田丸屋守右衛門（太物問屋の番頭）

お松（越後柏崎の機屋）、長次郎（息子）

ちゆうべえ
佐藤忠兵衛（新発田藩の小者頭）、仁助（百姓）

たみ
お民（郁江の祖母の隠居の留守番夫婦）

越山伊左衛門 — 幸代（娘 郁江の幼馴染）

大口屋清左衛門（蔵前の札差） — おたか（女房）、由利（娘）

おすず
お鈴（妾・柳橋芸者の娘）、お市（妾・女中の娘）

いさぶろう さだきち
伊三郎（手代）、定吉（小僧）

もとのぶ
滝川元信（医師）

しげやま
旗山千左衛門（築地の旗本） — 和江（後妻 貞春院の隣人）

千太郎（先妻の子）、千之助（和江の子）、吉之助（元奉公人）

ひでよ
秀代（千太郎の許婚）

きえき きねえ ぶんじろう
佐伯真兵衛 — 衣江（妻）、文治郎（息子）

またしろう
石川又四郎（旗本 勘定方）

よりもち
内藤大和守頼以（信州伊那郡内藤藩主）

かんなみ
神波利助（江戸留守居役）

しろべえ
松原四郎兵衛（用人）、勘二郎（息子）

せんたろう
仙太郎（若党） — おみね（妻）、おせつ（おみねの妹）

うしまつ
丑松（百姓）、孫七（百姓）

ほうあん
山口方庵（外科医者）

勝五郎（向島の植木屋）、多之助（長男）、おかつ（娘）、喜助（甥）

しゅげんのかみのぶたか かんおう よしべえ
今井主繕 正 信孝（長崎奉行）、今井勘翁（隠居）、下川吉兵衛（用人）

えつちゅうのかみ なおはち ごんたろう きちじ
津軽越中守（奥州津軽郡弘前藩）、百姓：直八、権太郎、吉次